

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和3年3月30日
九州地方整備局
山国川河川事務所

『山国川水系流域治水プロジェクト』を公表します

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けて
あらゆる関係者が協働して流域治水を推進～

「流域治水」に関する地域での取組を推進するため、河川整備に加え、流域のあらゆる関係者が協働して行う対策も含めた治水対策の全体像を「流域治水プロジェクト」としてとりまとめたものを公表します。

<概要>

近年、全国各地で豪雨災害が激甚化・頻発化しており、流域全体を俯瞰し、国、流域自治体、企業等のあらゆる関係者が協働して取り組む治水対策「流域治水」を推進していくことが必要です。

このため、あらゆる関係機関が参画する流域治水協議会を立ち上げ、関係機関が協働して流域治水プロジェクトの策定に向けて協議を進めて参りました。

本日、山国川水系において、流域治水プロジェクトを公表します。

本水系における流域治水協議会に関する情報は、以下のページに掲載しております。

【山国川水系流域治水協議会】

http://www.qsr.mlit.go.jp/yamakuni/office/yamakuni/ryuiki_pro.html

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 山国川河川事務所

電話：0979-24-0571（代表）

技術副所長 田島 二仁（たしま つぎと）（内線 204）

調査課長 櫻井 祥貴（さくらい よしたか）（内線 351）

山国川河川事務所ホームページ：<http://www.qsr.mlit.go.jp/yamakuni/>

山国川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、全国各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生した。山国川水系は、九州屈指の急流河川で洪水は短時間で流下し、下流部は広大な扇状地が広がるという流域の特性を踏まえ、下流部の堤防整備や河道掘削などの事前防災対策を進めることで、戦後最大の平成24年7月洪水と同規模の洪水を安全に流下させるなど、あらゆる関係者が協働して流域治水の取組を推進していき流域における浸水被害の軽減を図る。



- ### ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河道掘削・堤防整備、橋梁架替・堰改築 等
 - 耶馬溪ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者: 国など)
 - 下水道等の排水施設の整備
 - 砂防関係施設の整備
 - 農業水利施設の整備・有効活用
 - ため池の補強・有効活用、水田の貯留機能向上
 - 雨水貯留浸透施設の整備
 - 森林整備・治山対策
- ※今後、関係機関と連携し対策検討



- ### ■ 被害対象を減少させるための対策
- 立地適正化計画の策定 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

- ### ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- プッシュ型情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化
 - 危機管理型水位計の周知
 - ため池ハザードマップの作成
 - 防災教育や避難訓練等の実施
 - 防災マップの作成
 - 河川防災ステーションの整備 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討



凡例

- 浸水範囲(戦後最大のH24.7洪水実績)
- 浸水想定区域
- 大臣管理区間

河川防災ステーションの整備

防災マップweb版

マイタイムライン

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

山国川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

- 山国川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 資産の大きい下流部の洪水被害軽減として、本川下流部の堤防整備、河道掘削等を主に実施する。県管理区間においても、河道掘削や橋梁架替を実施するとともに、河川防災ステーションの整備や砂防関係施設の整備等、流域内の被害軽減を図る。
 - 【中期】 本川中流部の流下能力不足解消のため、河道掘削、橋梁架替え等を実施する。県管理区間においても、引き続き河道掘削や堰改築等を実施するとともに、森林整備・治山対策、流出抑制対策等により被害の最小化を目指す。
 - 【中長期】 本川中上流部の浸水被害を防ぐため、河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

■河川対策 (約178億円)
■砂防対策 (約46億円)
■下水道対策 (約40億円)

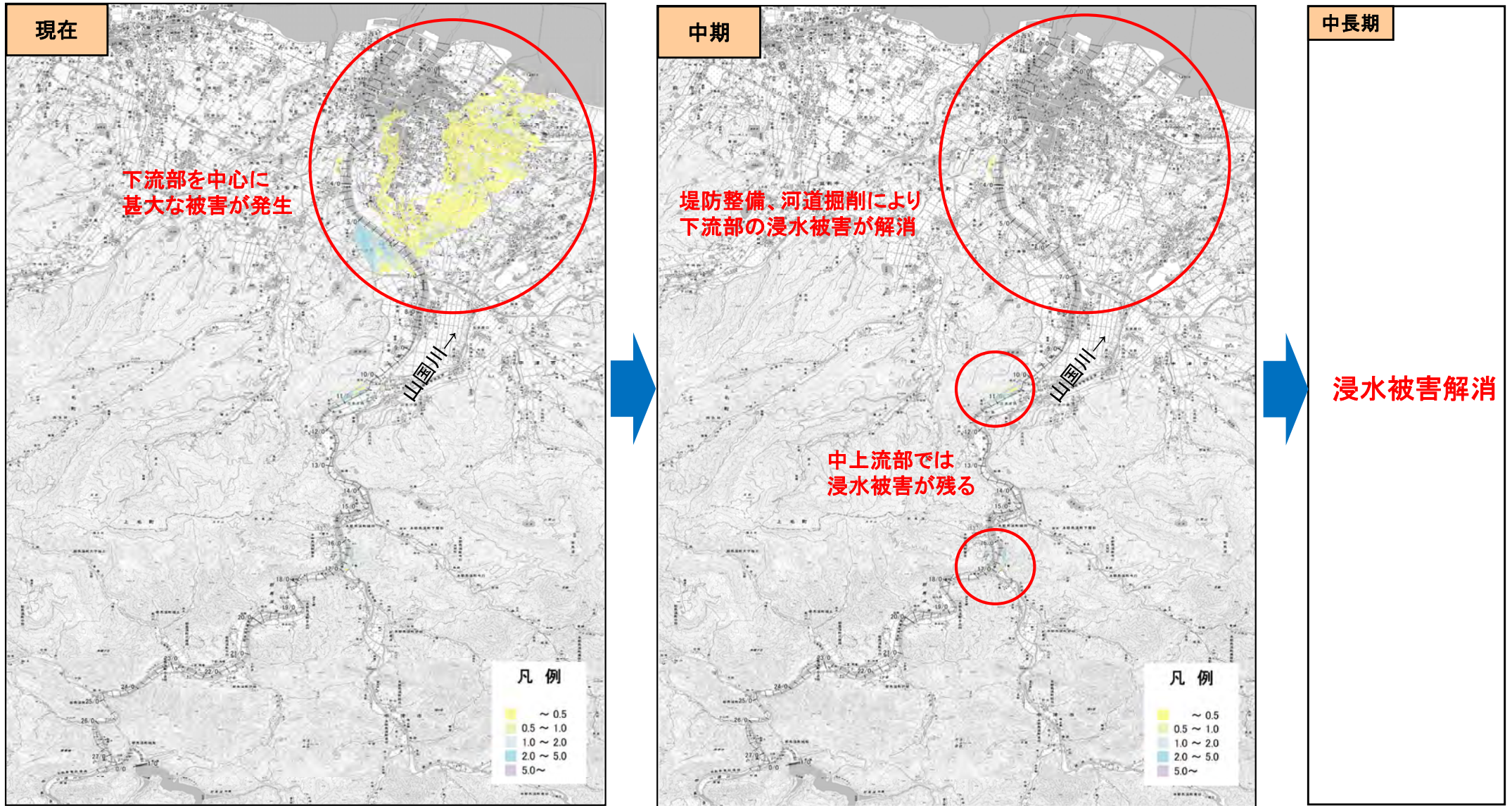
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、樹木伐採、橋梁架替等	国土交通省 大分県、福岡県	山国川下流部、津民川	山国川中上流部、金吉川整備	
	内水氾濫対策	中津市、吉富町	橋梁架け替え、堰改築等		
	土砂災害対策	大分県	下水道等の排水施設の整備、排水機による強制排水		
		大分西部森林管理署 福岡森林管理署 福岡県、大分県 森林整備センター	砂防関係施設の整備		
	流域の雨水貯留機能の向上	大分県、福岡県 中津市、吉富町、 上毛町	森林整備、治山対策		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	中津市、(大分県)	水田の貯留機能向上、ため池や農業用排水路の治水活用等		
		吉富町	立地適正化計画の策定		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	大分県、福岡県	公共施設電気等設備のかさ上げ		
	避難体制等の強化	大分県、福岡県 中津市、吉富町、 上毛町	危機管理水位計の設置等		
	関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	国土交通省 上毛町	防災マップ等の作成、避難訓練等		
			河川防災ステーションの整備		

気候変動を踏まえた
 更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

山国川水系流域治水プロジェクト【効果】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～



※直轄管理区間において、平成24年7月洪水と同規模の洪水が発生した場合に、氾濫ブロックで被害最大となる1箇所を破堤させた場合の氾濫想定範囲